

田畠新太郎(講演), 横山均次(編集), 湯川正夫(研, 調). 原案通り決定, 承認. (2) 秋季講演大會開催地の件. 11月初旬, 福岡. (本月下旬, 谷村教授上京の節, 三島前會長より打合せていたこと). (3) 工學會上半期(27年)會費(3,000圓)拂込の件, 承認並に同會通常總會(4月24日後1時於日本鑄業會々議室)に出席(缺席)の件. (會長代理として内川理事に出席を御依頼すること). (4) 昭和27年度第1月(27年3月分)收支決算審議の件, 承認. (5) 入退會者及會員異動の件, 承認. (6) 日本材料試驗協會(假稱)創立發起人として, 協會々長に承諾を求め來れる件, 承諾のもとに決定. (7) 日本學術會議第12回總會(4月22, 23, 24日)傍聽希望者申出の件, なし.

(91頁より續く)

設備として平爐 50t 2基(内1基稼動)電氣爐 4基, 高周波爐 1基, コシキ爐 1基その他鑄鋼設備, 壓延設備, 鍛造設備を有している. 製品として中小山形鋼, 小形棒鋼(月產能力約 5,000t) 鑄鋼品(月產約 200t) グリッド, 鍛鋼品等を生産する. 尚 2C 系ロールの製造方

法に高周波湯口加熱装置の研究を完成し, 歩留向上に著しい効果をあげている. 當工場は發足後單壓工場であつたが今年に入り平爐の稼動を開始し, 設備上製造技術上の研究改善をはかり, 躍進を示している.

(吉田道一記)



日新耐火工業株式會社

本社工場
大阪事務所
東京支社
下關工場

電東電下電大電東電兵
京話關阪話庫都相縣
都下市佐西市日中生相
赤板彥堀區本央橋日五
羽橋關六島一町(24本八市
80志六田通九橋)橋二生
80村三ノ五一通四吳那
二町二首ノ六七服波
四町六一ノ二五
一丁四一五八一七五八
目八六日五東五六
八二六六〇新京五
〇三五七耐五建二八
六番三番六ヒ九ビ七番
番地番地番ル番地翼

取締役社長

戸藤

珪石煉瓦
黒鉛培堀・黒鉛製ノーツル
ストッパー及スリーブ
瓦製鋼用
硝酸子炭爐用

Furnace.
Brick.

各種工業窯爐設計施行
日本钢管製耐火物販賣

耐火煉瓦

耐火モルタル



レフラメント
(特殊耐火)
(モルタル)

製造販賣

日本窯爐株式會社

本社 川崎市宮本町39 電話川崎3981
第一工場 川崎市港町31 電話川崎4830
第二工場 愛知県常滑町 電常滑456.388
東京連絡所 東京大田雪ヶ谷電柱原(08) 6497
名古屋連絡所 名古屋中川横堀町電南(32)3791